

第 39 回日本パラ水泳選手権大会における新型コロナウイルス感染症防止策

会場の感染対策に従い、各自が感染対策を徹底して実施します。「第 39 回日本パラ水泳選手権大会 二次要項」（以下、「二次要項」とする）と合わせてお読みください。

本大会に入場可能な方は

- ・選手と選手の同行者（1 選手につき同行者 5 名まで）
- ・事前に申請のあったスポンサー、協賛企業、NF 関係者、県水連関係者、報道関係者
- ・一般観客

入場可能な対象者のうち健康状況や検温に問題がなく、この感染症防止策を厳守できる方が入場できます。

参加にあたってはワクチン接種や、PCR 検査等を実施して参加されることを推奨します。

感染状況によっては急速検査等を依頼する場合があります。

【参加に際しての全般的な注意事項】

- (1) 参加選手及びすべての入場者は参加当日ならびにその前 7 日間に以下の事項について該当がないか確認します。健康チェックの結果、下記の症状があれば大会参加及び、入場をお断りします。
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・臭覚や味覚の異常
 - ・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・下痢や頭痛
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・同居している人や身近な知人に感染が判明した、または感染が疑われる方がいる場合
 - ・政府から定める所定期間内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等からの入国者と濃厚接触がある場合（入場当日の水際対策により判断する）
- (2) 会場に入場しようとする者は「**大会用健康チェックシート**」に参加前の検温を含む健康状況を記載し、提出しなければなりません。大会参加初日にご提出ください。
- (3) 不織布マスクを各自で準備し、正しく着用（口と鼻を覆う）してください。マスク着用ができない場合は入場をお断りします。（特段の理由がある場合を除く）
- (4) 入場可能な選手や競技役員等は AD カードを渡すので、常に見える位置（首から下げる等）に携帯してください。選手の同行者や一般観客にはリストバンドを渡すので、見える位置（手首等）に装着してください。連日入場する場合は、アクレ、前日のリストバンドをご持参ください。
- (5) 大会期間中も起床時の検温を行い、平熱を超える体温や体調が悪いときは、参加を中止してください。
- (6) 大会期間中、発熱や感染を疑う症状を認めた場合は、その時点で参加を中止とし、すみやかに退館してください。
- (7) 会場内の動線や案内に従って移動してください。
- (8) ミーティング等で密にならないようにしてください。
- (9) その他、主催者・施設管理者が定めた措置・指示について従ってください。一般観客は指定の席（3 階席を予定）をご利用ください。
- (10) 「健康チェックシート」は感染対策担当者が集約し、JPSF 感染症対策部会において 30 日間保管します。必要時は公的機関に提出しますので、あらかじめご了解ください。
- (11) 大会終了後 2 週間以内に新型コロナ感染症を発症した場合は、主催者に連絡をしてください。
(連絡先：日本パラ水泳連盟 神戸事務所)

【練習や競技会時の注意事項】

- (1) 入館から退館時までの全ての場面で、他者との距離を確保して行動してください。(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- (2) プール内でも他者との距離を確保(2m以上)してください。練習時各レーン内で待機する場合も、他者との距離を保ってください。レーンの使用については当日の主催者の案内に従ってください。
- (3) 泳ぐときを除いてマスクを着用してください。
- (4) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施してください。アルコールにアレルギーがある場合は石鹸による手洗いを実施してください。
- (5) 大きな声での会話や応援は控えてください。
- (6) 練習時、コーチ・介助者等は大きな声での指示は控えてください。呼気式のホイッスルの使用は禁止とします(電子ホイッスルは使用可能、必要に応じて各自で準備すること)
- (7) 唾や痰を吐くことは極力行わないでください。吐く場合は排水溝に確実に入れ、多めの水で流してください。
- (8) 練習用具やマット、デバイス等は共有しないで、各自で用意してください。
- (9) 介助者が介助を行う際はお互いに接触したら手洗いをするなど、感染予防対応をとってください。ケアなどの接触は極力控えてください。また、目の粘膜の保護にメガネなどを装着することを推奨します。
- (10) レース直前までマスクを着用してください。外したマスクは直接かごに触れないようビニール袋等に入れてください。
- (11) レース直後の会話は控えてください。呼吸が落ち着くまでは他者との距離を十分に保ち、呼吸が落ち着き次第マスクを着用してください。
- (12) 鼻水、唾液などがついたゴミはビニール袋に入れて密閉して処分してください。ゴミは各自でお持ち帰りください。
- (13) 熱中症にも留意し、水分補給を心がけ、他者との距離が保てる場合はマスクを外すなどの熱中症対策をとってください。
- (14) 会場内の動線や案内に従って移動してください。
- (15) 館内で食事をする際は、位置取りに注意し(対面しない)他者と適切な距離を確保の上、黙食をしてください。
- (16) 自分の練習や競技が終了したら、速やかに会場から退館してください。
- (17) 会場内は適時換気が行なわれています。必要に応じて窓を開けますので、各自で保温に留意してください。
- (18) 競技会当日のウォーミングアップ時のプールサイドへの入場は選手、コーチ、タッパー、入退水介助者となります。
- (19) 「二次要項」に入場時間や練習時間が指定されている場合はそれに従ってください。

【競技役員等スタッフの注意事項】(上記以外に特別なことのみ記載)

- (1) 競技役員はマスク(不織布マスクに限る)を着用し、必要に応じて、使い捨て手袋、目の保護をしてください。目の保護用具は各自で用意ください。
- (2) 控室が密にならないように、分散して利用してください。
- (3) 共用する機器・機材・備品は必要に応じてアルコールシート等に消毒をしてください。

【宿泊施設での注意事項】

- (1) 施設にて実施されている感染予防対策を遵守してください。
- (2) ホテル内で、ミーティング等で密にならないように各自で留意してください。
- (3) 室内の換気状況や乾燥に留意し、適度な湿度を保つようにしてください。

【その他】

- (1) 外食する場合、話すときはマスクをするなど、感染対策をとって十分に気をつけてください。
- (2) 大会参加に際しては、2週間前から感染リスクの高い場所への立ち寄りなどの行動は控えてください。
- (3) 感染リスクがたかまる「5つの場面」にご留意ください。

以上

安全・安心な大会の開催に向けて一人一人が感染防止策の徹底をお願いします。

(一社) 日本パラ水泳連盟
感染症対策部会